

ごみゼロ化推進員をご存知ですか

ごみゼロ化推進員は、町会・自治会・事業者などからの推薦や、公募市民などで構成されており、3部会に分かれてごみの減量やまちの美化などに向けた活動を、市と連携して行っています。

ごみゼロ化啓発部会

ごみの減量にかかわりのある啓発活動を企画・実施しています。

事業所部会

事業所にかかわりのあるごみの減量施策を検討・実施しています。

まち美化部会

清掃活動など、まちの美化やごみの減量にかかわりのあるキャンペーンを実施しています。

ごみゼロ化推進員を募集しています

推進員の皆さんのおかげで、市内のごみは減量に向けて大きく前進しました。

市では、ごみゼロ化推進員を随時募集しています。より一層のごみ減量を図るため、多くの皆さんの応募をお待ちしております。ごみ対策課までお問い合わせください。



リデュース

大型生ごみ減量化処理機器購入費補助金をご活用ください

市では、燃やすごみの減量と循環型社会の形成に向けて、新たに大型生ごみ減量化処理機器を購入する自治会や管理組合などの団体に対し、補助金を交付する制度を実施しています。ぜひご利用ください。

大型生ごみ減量化処理機器とは

家庭等から排出される生ごみを自家処理するために、容量を減少させ、または堆肥化もしくは消滅させる処理能力が1日10kg以上の機器

☑町会、自治会、集合住宅管理組合等、地域においておおむね20世帯以上の家庭等により構成される団体

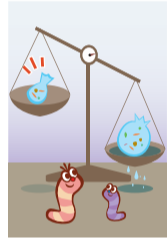
■補助金額 1団体につき1台までとし、大型生ごみ減量化処理機器の購入に要した本体費用および設置費用（消費税含む）の5分の4（100円未満の端数は切り捨て）に相当する額で、150万円まで

■申請書記布場所 ごみ対策課

☑購入前に申請書などを提出し、交付決定を受けてください。市の交付決定通知を受けた日から60日以内に処理機器を購入し、機器を設置した日から60日以内に実績報告書を提出してください。補助金の申請方法等、詳しくはお問い合わせください

機器を使用するメリット

- ごみ袋のサイズが小さくなる、使用枚数が減る
- においや虫が気にならなくなる
- カラス被害を減らすことができる
- 環境に対する意識が高まる



令和2年度 廃棄物会計

ごみ・資源物処理経費に総額約22億6,078万1千円

市民1人当たり 1万8,317円
1世帯当たり 3万6,619円

令和2年度にごみ・資源物の処理にかかった経費は、総額で約22億6,078万1千円でした。これは、本市の令和2年度一般会計決算の約3.9%、市税収入の約9.3%になります。令和2年度のごみ・資源物の総排出量は29,519tでしたので、1kg当たり76.6円となり、市民1人当たりで見ると1万8,317円、1世帯（平均約2.0人）当たり3万6,619円になります。

歳入総額は約5億5,799万2千円

ごみ・資源物の処理に係る歳入は、約5億5,799万2千円でした。これは、ごみ・資源物処理経費総額の約24.7%に当たります。歳入のうち、家庭系ごみ処理手数料は約3億2,186万円、粗大ごみ処理手数料は約3,723万4千円でした。

環境基金について

環境基金は、ごみ処理施設の整備や新たなごみ減量施策、環境保全事業の充実などに充当するため設置しているものです。令和2年度は環境基金に2億2,561万9千円が積み立てられました。内訳は、家庭系ごみ処理手数料収入約3億2,186万円の約25%に当たる約8,046万5千円、一般財源から約1億4,515万4千円です。

資源物処理にも多額の経費が使われます

令和2年度に資源物処理（資源物の収集、資源物・燃やさないごみ・プラスチックごみなどの資源化）にかかった経費は、約8億6,366万5千円（ごみ・資源物処理経費総額の約38.2%）でした。限りある資源を有効活用するため、資源物を分別することはもちろん大切です。しかし、その処理には多額の経費が使われます。そのことから、まずはごみになるものを元から減らす発生抑制に取り組むことが重要です。

ごみの減量でいちばん大切なことは発生抑制です

日常生活の中で実践できる、代表的な発生抑制の取り組みを紹介します。

- ▷ごみの水切りを徹底する
- ▷マイボトル、マイバッグを持参する
- ▷余分なものは買わない
- ▷過剰包装やダイレクトメールは断る
- ▷料理は作り過ぎない、残さない

発生抑制に取り組んだ後に、使えるものは何でも使うリユース、分別して資源として再生利用するリサイクルに取り組むことが大切です。引き続き、発生抑制を最優先としたごみの減量・資源物の推進へのご理解・ご協力をお願いします。

1t当たりの処理経費

種別	処理経費	
燃やすごみ	5万8,718円	
燃やさないごみ	16万7,415円	
粗大ごみ	可燃系	17万5,190円
	不燃系	17万4,190円
プラスチックごみ	14万3,732円	
有害ごみ	20万1,034円	
古紙・布	2万8,105円	
びん・スプレー缶	7万6,453円	
空き缶・金属	21万1,880円	
ペットボトル	27万8,436円	
拠点回収	11万2,381円	
剪定枝、乾燥生ごみ	10万8,504円	
集団回収	1万9,003円	

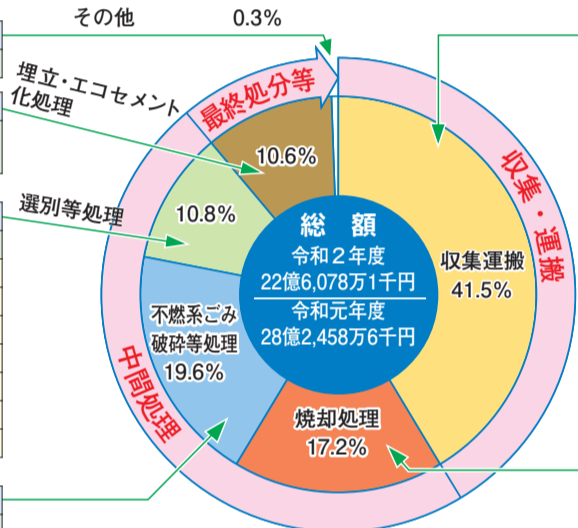
ごみ・資源物の処理に係る歳入内訳

家庭系ごみ処理手数料	3億2,186万円
事業系ごみ処理手数料	2,699万8千円
自家搬入ごみ処理手数料	6,516万9千円
粗大ごみ処理手数料	3,723万4千円
可燃・不燃ごみ有価物売り払い収入	2,469万円
その他	8,204万1千円

	令和2年度	令和元年度
その他	772万8千円	442万4千円
埋立・エコセメント化処理	2億3,935万円	2億2,423万7千円

	令和2年度	令和元年度
選別等処理	2億4,377万8千円	1億8,815万1千円
古紙・布	1,621万4千円	728万7千円
びん	4,367万8千円	3,691万9千円
空き缶・金属	5,144万円	3,630万2千円
ペットボトル	4,836万5千円	3,446万4千円
拠点回収	459万7千円	442万3千円
可燃粗大	2,660万4千円	1,922万9千円
剪定枝・乾燥生ごみ	5,288万円	4,952万7千円

	令和2年度	令和元年度
不燃系ごみ破砕等処理	4億4,224万8千円	3億9,024万4千円



	令和2年度	令和元年度
収集運搬	9億3,891万4千円	8億6,419万9千円
燃やすごみ	3億4,999万6千円	2億5,413万9千円
燃やさないごみ	5,766万5千円	5,577万9千円
粗大ごみ	4,555万2千円	4,407万円
プラスチックごみ	1億3,077万5千円	9,974万7千円
古紙・布	1億3,830万7千円	1億3,381万6千円
びん・スプレー缶・有害ごみ	3,812万2千円	3,393万5千円
空き缶・金属	3,938万7千円	3,811万7千円
ペットボトル	5,908万1千円	5,716万6千円
拠点回収	461万8千円	443万3千円
有機性資源（剪定枝・乾燥生ごみ）	1億2,181万1千円	1億1,943万5千円
集団回収	2,630万円	2,356万2千円

	令和2年度	令和元年度
※焼却処理	3億8,876万3千円	11億5,333万1千円

※浅川清流環境組合負担金を含む

リユース リサイクル

夏休み生ごみ投入リサイクル事業の報告

学校の夏休み期間中、市内の小・中学校に設置している電動生ごみ処理機を有効利用するため、夏休み生ごみ投入リサイクル事業を実施しました。

今年度の実施校は6校で、猛暑の中、投入管理のボランティア活動にご協力いただいた方は44人、投入者延数は862人でした。その結果、地域の皆さんの着実な取り組みにより1か月間で約1.5tの燃やすごみを減量することができました。（右下表）

今年度は、各実施校で参加者に対し、家庭での生ごみの水切り徹底の呼びかけなどを行いながら、燃やすごみの減量に取り組みました。

	一小	前原小	緑小	南小	一中	二中	合計
投入日数（日）	6	11	6	5	5	5	38
投入延数（人）	188	191	154	61	184	84	862
投入総量（kg）	310	285	342	147	273	130	1,487

ご参加いただいた皆さん、ご協力ありがとうございました。

食品リサイクル堆肥を無料配布

投入された生ごみは、電動生ごみ処理機で乾燥処理した後、食品リサイクル堆肥に加工され、市民の皆さんに無料配布しています。

配布は、毎週金曜日・毎月第2火曜日の午後3時～4時（祝日、年末年始を除く）に、中間処理場（貫井北町1-8-25）で行っています。

粗大ごみの申し込みについて

現在粗大ごみを排出される方が大変多く、収集までに1か月程度のお時間を頂いております。ご不便をおかけして申し訳ありません。期間短縮に努めていますが、粗大ごみの排出量が増え続けているため、収集に時間を要する状況が長く続く可能性があります。そのため、お引越し等を予定されている方は、余裕を持って申し込みください。また、粗大ごみの計画的な排出にご協力をお願いします。



喫煙ルールを守ってください

路上禁煙地区での喫煙、たばこのポイ捨て等の違反行為により、多くの方が迷惑しています。喫煙の際は、ルールを守ってください。

【条例により禁止されている行為】

- ×路上禁煙地区内での喫煙
- ×吸い殻等の投棄



※路上禁煙地区は、JR武蔵小金井駅・東小金井駅・西武多摩川線新小金井駅を中心としたエリアです

不燃・粗大ごみ積替え・保管施設建設工事の進捗状況をお知らせします

市では現在、二枚橋焼却場跡地で不燃・粗大ごみ積替え・保管施設の建設工事を施行しています。現場では躯体工事が進み、今後は鉄骨工事、外装工事と進んでいく予定です。

今後も進捗状況については、市報等で公開してまいります。



水銀使用製品回収キャンペーン 日野市・国分寺市・小金井市・浅川清流環境組合共同実施事業

令和2年6月16日、7月18日、12月28日（火）に浅川清流環境組合可燃ごみ処理施設で発生した水銀濃度超過事案を受けて、可燃ごみの共同処理を行う日野市、国分寺市、小金井市では、可燃ごみへの水銀混入を防止するため、水銀使用製品回収キャンペーンを昨年度に引き続き実施します。

ご家庭で使用していない水銀使用製品がありましたら、お持ちいただいた方に粗品（エコバッグおよびくるカメグッツ）を差し上げます。

■実施期間10月1日（金）～

